

2011年  
5月15日発行  
第55号

# 北九州地区労連

発行：北九州地区労働組合総連合（〒802-0071 北九州市小倉北区黄金町1-4-9 山本ビル207号 TEL 921-0747 FAX 921-0284  
ホームページアドレス [http://www.geocities.jp/k\\_roren/](http://www.geocities.jp/k_roren/) Eメールアドレス [k\\_roren@ybb.ne.jp](mailto:k_roren@ybb.ne.jp)

心配された雨も降らずに新緑の小倉城公園で第82回北九州統一メーデーが開催されました。  
メーデー恒例の「北九州のうたごえ」で始まり、若松の「夢限太鼓」が力強いひびきをとどろかせる中、開会されました。  
開会宣言の後、東日本大震災での多くの犠牲者に対し黙祷をささげました。  
実行委員長、来賓挨拶、争議をたたくて仲間の紹介と訴えに続き、「東日本大震災支援」について健和会労組の藤井広子さんが特別報告し、大震災支援。争議支援などを訴えた会場カンパは18万8279円が集まりました。  
課題別の訴えは、受託リフォーム助成制度創設のたまたかいなど7団体からありました。プラカード展では最優秀賞に新婦人小倉南支部、金賞に市職労八幡西支部が選ばれました。  
メーデー宣言、スローガン採択を終え「ガンバロウ」を歌いながら解散しました。出発集会は門司、小倉地区は堺町公園で八幡、戸畑、若松地区は金田公園で行われ、会場までデモ行進しました。



プラカード展入賞作品 一部紹介します



今年のプラカード展では東日本大震災支援、原発に関するものが多くありました。  
左は最優秀賞の新婦人小倉南支部、金賞の市職労八幡西支部、銀賞の年金者組合門司支部の作品です。

被災地支援・復興を掲げ  
全国313ヶ所20万人余が参加

## 東日本大震災被災地支援 第82回 北九州統一メーデー

雨上がり、久しぶりの日曜日のメーデーに1044人参加

お礼金をいただきました。  
メーデー当日、国労門司地区闘争団の西本団長から地区労連門司区協議会へ闘争支援へのお礼金として10万円カンパをいただきました。  
有難うございました。  
尚、建交労定温輸送分会、ジャンプにも渡したと言います。



左・西本さんから一ノ瀬さんへ



ガンバロウを全員で合唱

5月と言えばこどもの日があります。こどもの日の由来について少し調べてみました。  
もともとは古代中国発祥の厄祓い行事だったそうです。「端」は初めのという意味で、「端午」は月の初めの午（うま）の日で、五月に限ったことではなかったそうです。やがて、五月が十二支でいう午の月であり、「午（こ）の日」が「五の日」に通じることや、奇数が重なっておめでたい「重五（ちようご）」の日でもあるため、「午の月の端午の午の日」＝端午といえは五月五日をさすようになったそうです。  
こうした古代中国の風習が日本に伝わり、平安時代に端午の節会（せちえ）という宮中行事になったそうです。  
その後、武士の力が強くなること、「菖蒲」が武を尚（たつとぶ）、「尚武」や「勝負」に通じ、葉の形が剣に似ていることから、兜（かぶと）に菖蒲を飾ったり流鏑馬（やぶさめ）をするようになり、男の子のおまつりに変わってきたそうです。  
さらに、江戸幕府によって五節句のひとつに定められると、男の子が強く逞しく成長して立身出世することを願う行事として定着していきました。  
昭和23年に「国民の祝日に関する法律」で「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」日となり、男女の別なくお祝をするようになったそうです。  
こどもの日の由来について調べてみました。ご参考あれ！

雨上がり

# 北九州地区労連(裏面)

## 第一法律事務所との事例検討会

5月19日(木) 18時30分 於 地区労連事務所

第一法律事務所との事例検討会を毎月第3木曜日に行っている、第6回検討会は5月19日大年弁護士、第7回は6月16日迫田弁護士の担当です。組合員や労働相談者も法律相談で参加できますので事前に事務局まで連絡ください。聞くだけでの参加もできますので皆様のご出席お待ちしております。



## 北九州地区労連第59回評議員会及びご出席のお願い

北九州地区労連59回評議委員会は、これまでの取り組みを総括し、決算見込みや暫定予算などの財政議案の確認、次期役員体制を協議する役員検討委員会の設置など、第23回定期大会成功に向け極めて大切な評議員会です。

加盟組合の皆様には、大変忙しい時期とは存じますが、評議員会への出席をよろしくお願いいたします。

- 1 とき 2011年6月10日(金) 18時30分
- 2 ところ 小倉北区生涯学習総合センター A・B会議室
- 3 議題 「活動報告」「大会日程の確認」  
「役員検討委員会設置」「財政報告」など

## あの〜くみあいから 16

若松競艇従業員労働組合  
組合長 堀之内 里子

若松競艇従業員労働組合は、今年で結成51年という長い歴史を持っています。700名近い組合員も機械化や合理化が進む中で、現在200名を切る状況です。公営競技で働く私たち競艇労働者は、市の臨時職員(日々雇用)に位置づけられています。20年・30年と同じ職場に継続して雇用されても日々雇用です。低賃金・不安定な身分で働いている管制ワーキングプアといわれる実態です。

どこの自治体にもある業種でもなく「現業でもないし、どの類型にもあてはまらない。」ということで、法の谷間に置かれた労働者です。全ての闘いは身分問題が原因です。要求を実現するために、当局への団体交渉だけでなく監督官庁への要求・要請行動を行い、「私たちの要求の正当性」を理解してもらおう行動も平行して行っています。

労働環境は益々厳しくなっています。一層の団結で生活と権利を守り、安心して働ける労働環境を目指しましょう。



第82回北九州統一メーデー夢限太鼓の勇壮な太鼓でオープニング

## 博多どんたくパレードでアピール 年金者組合福岡県どんたく隊 総勢150人余

5月3日 年金者組合福岡県本部の博多どんたく隊に参加しました。パレードは第1陣がお昼前から始まり、私たち年金者隊は午後4時10分出発。最終グループです。全体では1000隊を越す参加者でしょうか。年金者組合は法被と手ぬぐい、しゃもじ、にわかのお面をつけて女性部の「ポンチかわいやねんねしな」の替え歌、踊りを先頭に行進しました。途中三箇所、グループの紹介がアナウンスされました。沿道から拍手や手を振っての声援もありました。元気なお年寄りを大いにアピールしました。(年金者組合門司支部より)

